

ロンドンへの序章 挑戦 金藤 魅せる!

ベストパフォーマンス

いよいよ始まる世界選手権。優勝者にはロンドン五輪行きの切符がもたらされる。だが金藤理絵の挑戦するものは何か。彼女の持ち味である「大きな泳ぎ」でみせるレース後半の追い上げは見逃せない!

月刊フットマーク
号外
発行：フットマーク広報室

第14回世界水泳選手権(上海)
2011年7月16日から31日

出場レース ※最新情報はHP等でご確認ください

	予選	決勝
平泳ぎ 200m	7/28 9:00 ~	7/29 18:00 ~
平泳ぎ 100m	7/25 9:00 ~	7/26 18:00 ~
平泳ぎ 50m	7/30 9:00 ~	7/31 18:00 ~

- ◆金藤理絵(かねとうりえ) jakedエリートチーム所属
- 種目:平泳ぎ(50M、100M、200M)
- 出身地:広島県庄原市
- 生年月日:1988年9月8日(22歳)
- 身長:176cm ■血液型:A型
- 出身校:庄原市立庄原中学校~三次高校~東海大
- 好きな言葉:一步
- 好きな食べ物:オムライス ■得意料理:ハンバーグ
- げんかつぎ:コース台に立った時、胸を張り、先を見る
- ▽主な大会成績:2008年 北京オリンピック 200M平泳ぎ7位
2009年 世界水泳ローマ大会 200M平泳ぎ5位 2010年 日本選手権水泳競技大会 200M平泳ぎ2位
▽200M 平泳ぎ日本記録保持者:2:20.72



自分への挑戦

今回の世界選手権には、来年のロンドン五輪を目指す選手たちにとって、大きな意味がある。しかし金藤の表情からは、その決意とはまた何か違う空気が漂う。「ここ最近、国際大会で良い成績を収めることができていないので、まずは自分の納得のいくレースがしたいんです」。表情は至って冷静だった。

思えばローマの世界水泳から恩師である加藤コーチいわく失敗続きだ。腰の負傷から、不調の迷路を抜け出せないまま、時が過ぎた。春にあった選考会では辛くも二位を死守し、がけっぶりて今大会の切符を手に入れた。

正直なところ、焦っている気持ち、不安な気持ちもある。ここ一年くらい消化不良の試合が続いている。泳ぎ自体は少なからず手ごたえを感じるものの、努力の結果はタイムに反映され

ていない。現在の不安要素の二因でもある。「でも今さらそんなことを言ってもしょうがない。どこかで開き直ったような強い気持ちもある。複雑な心境を吐露する。

「大きな泳ぎでベストパフォーマンスがしたい」。これが金藤が常に思い描く目標であり、原動力だ。世界選手権は現在の自分と正面から向き合い、臨んでいく。戦いが静かに始まっている。

今年の春から、社会人スイマーとなり環境にも変化があった。それでも、金藤が水泳と向き合う姿勢には何の変化もない。長年に渡り日本の女子平泳ぎを引っ張ってきた自負がある。ロンドン五輪に向けて今大会がどんな意味を持つのかは彼女が一番分かっている。

要チエツク 大会をテレビで見よう! 前へ、強く。ニッポン。世界水泳上海 2011

7.17(日)~31(日) テレビ朝日系 地上波独占放送

フットマーク社員も会場で応援します!!

わたしたちをテレビから探してください!



目印は水色T!



